



ひかり輝く未来を目指し 新たなまちづくりにまい進

平成17年元旦
光市長 末 岡 泰 義

新年明けましておめでとございます。皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年10月4日、合併により新「光市」が誕生いたしました。本年は、本市にとりまして新たなまちづくりの元年であり、ひかり輝く未来に向けての本格的なスタートの年でもあります。

一方、今日の地方自治体は大きな転換期を迎え、三位一体改革など国と地方の枠組みが変わる中で、分権時代にふさわしい簡素で効率的な都市経営の確立が求められています。そのためには、従来の行財政システムから脱却した大胆な発想の転換が必要であり、行政と市民と地域が担うべき役割を自覚し、新たな連携のあり方を模索しなければなりません。

このため、本市におきましては、「新市建設計画」を基本としつつ、『改革・再生・創造』をキーワードとして、新たなまちづくりに取り組んでまいります。まず、『改革』として、合併効果を最大限に活かしつつ、さらなる行財政改革を積極果敢に進めます。また、市民の皆様との新たな「共創・協働」関係を構築し、地域の「再生」への取り組みを進めます。さらに、豊かな自然、歴史、文化などの資源や都市基盤、地場産業など、本市が有する有形・無形の財産を積極的に活用し、市民の皆様が心豊かで幸せを実感できる「生存空間」の『創造』を目指して、一步一歩前進したいと考えています。こうして、市民の皆様と心をつなぎ、地域と一体となって『光る個性 地域の和 人と自然にやさしい生活創造都市』づくりにまい進する決意です。

市民の皆様には、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして幸多き年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



時代の要請を的確にとらえ 新生「光市」の発展に尽くす

平成17年元旦
光市議会議長 市 川 賢

明けましておめでとございます。市民の皆様には、健康で希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素から市政運営に対して温かいご理解と絶大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて本年は、新生「光市」が新たに迎える年であり、多くの課題を解決すべき出発の年でもあります。

国と地方の仕組みでは分権化や規制緩和の進展、社会的には少子高齢化がさらに進み、財政的には長引く景気の低迷や税収の伸び悩みに直面し、自治体にとって大変厳しい社会経済情勢が続いています。その一方で、行政需要は量・質ともに複雑多様化しています。こうした状況の中、新市建設計画を着実に推進していくことが幅広い市民ニーズに応えることであり、そのためには、これまで以上に行財政改革に積極的に取り組み、その基盤をより強固なものとする努力が必要です。その結果として、市民の皆様が安全で安心して暮らせるまちに変わっていくのだと考えています。

議会といたしましても、こうした時代の要請に応えるため、議決機関として、また、チェック機関として、その責務を遂行し、議会の活性化と開かれた議会運営を推し進めるとともに、自己研鑽を積み、活発な論議を重ねるなど、積極的な議会活動を展開してまいりたいと考えています。

『光る個性 地域の和 人と自然にやさしい生活創造都市』の実現のため、「まち」の振興につながる各種の事業が展開されるよう、緊張感を持続しつつ、議会の役割と責任を十分果たしていきたいと考えています。

今後とも、時代の要請を的確にとらえ、創意工夫を重ねつつ、市民の皆様への負託に応えるべく、一層の努力を傾注してまいります。今年も相変わりにませぬご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、市民の皆様のご健勝、ご多幸を心からお祈りいたします。



石城山付近の「日の出」